

学校教育目標

しなやかな心で なかまと共に学び 未来をつくりだす子

めざす子どもの姿（めざす子ども像）

- 1 力を合わせて学び合い、互いの力を高め合う子ども
- 2 最後まで粘り強く取り組む子ども
- 3 自らの学びをよりよい方向へと調整できる子ども
- 4 正しく判断し行動できる子ども

学校経営方針

めざす教職員集団

チーム朱三

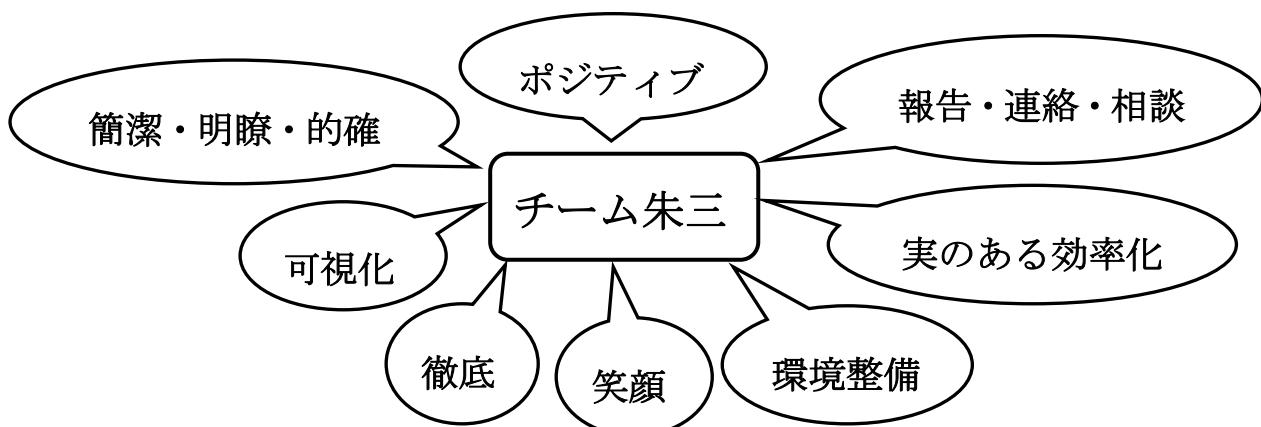
チームとして「つながり、 つたえ、 つくりだす」 教職員集団

チームの一員として個々の力を最大限に発揮し、 学校教育目標達成に向けて、 常にチームとして進んでいくことができる教職員集団

○つながる **共有**: めざす子どもの姿・目標→実態や情報→教育課題→課題解決の方策
→成果と新たな課題→見通しと具体的な取組→新たな目標…

○つたえる **コミュニケーション・会話**: 横とたてのつながりの強化
各学年、 各校務分掌での連携

○つくりだす **朱三小の豊かな学び・健やかな成長**: 組織力の強化



学校教育の基本方針

～自らの『生きる力』を育む

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和のとれた育成のために～

今年度の取組の重点

○校内研究活動の推進

- ・学びの質を高め、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実現できる授業展開の工夫
- ・算数科、算数チャレンジの取組の推進による基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用能力の育成
- ・「言語活動」の充実のための意図的・効果的な話し合い活動の工夫
- ・学習課題（めあて・目標）に応じた「まとめ」「振り返り」の徹底を通じた思考力・判断力・表現力の育成

○「しなやかな道徳」教育研究（令和2年度・3年度）

- ・校種間連携・接続の推進、中学校ブロックでの取組の強化
- ・研究主任、道徳教育推進教師、道徳主任の連携・協働による研究体制の構築
- ・道徳科を軸としたカリキュラム・マネジメントの推進
- ・道徳科における多様な指導方法による授業改善
- ・研修会及び公開授業の確実な実施

○生徒指導

- ・生徒指導の三機能を生かした教育活動の推進
- ・チームとして推進する組織的な生徒指導の実践

○英語活動・外国語活動

- ・研修、授業研究を通した授業改善、専科指導、協力指導等効果的な取組の推進
- ・支部における英語活動・外国語活動の取組の推進
- ・専科指導、ALTとの協力指導等における効果的な取組の推進

○社会に開かれた教育課程の推進

- ・学校教育目標の地域全体での共有の上に、学校・保護者・地域との連携・協働した教育活動の推進：学校運営協議会、PTA活動との連携・協働
- ・地域の教育力を生かした学習の展開の実践とさらなる推進
- ・エコ学区の取組：ビオトープを活用した教育活動の構築

確かな学力

- (1) すべての児童が基礎的・基本的な知識・技能を習得
 - ・日々の授業における学力保障の取組 スキルタイム, 朝読書
- (2) 学びの質の向上
 - ・算数科の研究を柱として育てる。
 - ・総合的な学習の時間の再編成
- (3) 自学自習の習慣化
 - ・日々の授業と家庭学習の連動を通した自学自習の習慣化
 - ・系統立てた家庭学習
 - ・学力に結び付く効果的な取組 学習クラブの活用
- (4) 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援
 - ・個別の指導計画の活用
 - ・総合育成支援員, SC, SSW の効果的な活用
- (5) プログラミング教育の推進
- (6) 校種間連携・接続の推進
 - ・「生き方探究パスポート」を活用し、学習状況やキャリア形成についての見通しや振り返りを促し、幼稚園から高等学校までの系統的な指導を行う。
 - ・スタートカリキュラムの推進による保幼小の連携を生かした接続

豊かな心

- (1) 「公共の精神」に基づく態度を育む：組織的に取り組む規範意識の育成
 - ① 児童一人一人を大切にする学級経営、支え合い高め合う集団づくり
 - ② 学習規律の確立、学習集団の形成
 - ③ 基本的生活習慣の確立、家庭との連携
 - ④ 「学校いじめの防止等基本方針」に基づく
「手遅れのない対応」「心の通った指導」の徹底
「いじめ」をしない、許さない、見逃さないことの徹底
 - ⑤ 情報モラル学習の系統的指導
- (2) 人権尊重の精神と態度の育成
「いのちの日」、人権集会等取組、一人一人が大切にされる教育活動の推進
- (3) 自主的、自発的な行動ができる児童の育成
 - ①学級指導、代表委員会、児童会、クラブ活動、委員会活動、部活動を通して育成
 - ②たてわり活動の推進
- (4) 感性・情緒を育む教育の充実
体験活動、特別授業による本物・人とのふれあいの重視

健やかな体

- (1) 運動やスポーツの実践と体力の向上
 - ① 達成感や成就感を味わい、生涯体育・生涯スポーツにつながる取組の実践
 - ② 本校の持つ体育科指導の継承 自主的な態度を育てる。
 - ③ 業間体育・部活動の充実

(2) 保健教育の充実

- ① 望ましい生活習慣をつけようとする児童の育成と保護者への働きかけ
- ② けがや病気の原因、予防法を正しく理解し、実践できる力の育成
- ③ 薬物乱用防止教室の継続 教職員の指導力・子どもの自己指導力の向上
「薬物乱用防止教育スタンダード」の活用
- ④ 家庭・地域・関係機関との連携

(3) 安全教育

- ① 「生活安全」「交通安全」「防災安全」の意識を持つ児童の育成
- ② 危険を予測し、適切に行動できる力を育む
- ③ 危険に際して主体的に行動し、支援者となる力を育む。

(4) 食に関する指導の充実

様々な経験を通じて「食」に関する知識と望ましい「食」を選択する能力を習得し、健全な食生活を実践する児童の育成